

「国際規格のFD戦略」による教職員の海外派遣研修 報告書

人間文化創成科学研究科 文化科学系（文教育学部芸術・表現行動学科）

中村美奈子

【研修先】 Burapha University（ブラパ大学）

169 Long-Hard Bangsaen Road, Saen Sook Sub-district, Mueang District,  
Chonburi Province 20131, Thailand

ホームページ <http://www.buu.ac.th/en/index.php>



**Burapha University**  
169 Long-Hard Bangsaen Road, Saen Sook Sub-district,  
Muang District, Chonburi Province 20131, Thailand.  
Tel: +66-38-102222; Fax: +66-38-390353 [www.buu.ac.th](http://www.buu.ac.th)

**Burapha University Chanthaburi Campus**  
57 Moo1 Chon Pratan Road, Kamong Sub-district,  
Tha Mai District, Chanthaburi Province 22170, Thailand.  
Tel: +66-39-310000-4; Fax: +66-39-310128 [www.chanthaburi.buu.ac.th](http://www.chanthaburi.buu.ac.th)

**Burapha University Sa Kaeo Campus**  
Wathana Nakorn Sub-district, Wathana Nakorn District,  
Sa Kaeo Province 27160, Thailand.  
Tel: +66-37-261560; Fax: +66-37-261801 [www.sakeo.buu.ac.th](http://www.sakeo.buu.ac.th)

【研修期間】 2013年1月12日～1月22日

【研修日程】

- 1月12日（土）16時30分タイ空港着ーブラパ大学まで移動（車で約2時間）
- 1月13日（日）17時～21時 パタヤにて会食（歓迎会）、観劇
- 1月14日（月）10時～12時 キャンパスツアー、大学施設、大学水族館等を視察  
13時～16時 「タイ古典舞踊と音楽」の授業参観
- 1月15日（火）（授業、会議での発表の準備）
- 1月16日（水）12時～14時 ブラパ大学音楽・舞台芸術学科教員らとの会食  
14時～17時 大学院カリキュラム会議への参加と発表
- 1月17日（木）14時～17時 バリ舞踊ワークショップ（筆者による講義と実技授業）
- 1月18日（金）（バンコクへ移動）
- 1月19日（土）バンコク、チュラロンコン大学にて、芸術祭の視察  
ブラパ大学教員の指導した伝統影絵芝居ナン・ヤイ、創作伝統舞踊、  
コンテンポラリー・ダンス（Pichet Klunchun Dance Company）など。

1月20日（日）同芸術祭の視察

1月21日（月） 9時～12時 タイ古典舞踊授業（実技）への参加  
17時～19時 送迎会（終了後、車で空港へ）  
22時50分 タイ空港発

1月22日（火）6時30分 羽田着

### 【ブラパ大学 Burapha University 概要】

ブラパ大学は、タイ国内に3つのキャンパスを持つ総合大学である。筆者の訪問したのは、メインキャンパスとなるバンサンキャンパス（チョンブリー県）であり、バンコク スワンナプーム国際空港から車で2時間ほど南に下った、タイ人の保養地にもなっている（外国人観光客はほとんどいない）海沿いの町である。バンコクのような都会の喧騒や交通渋滞もなく、比較的のんびりとした地方都市であり、研究、教育には適した環境である。

## FACULTY OF FINE AND APPLIED ARTS



024  
FACULTY OF  
FINE AND  
APPLIED ARTS

### Undergraduate Degrees

- Bachelor of Fine and Applied Arts (B.F.A.)
  - Painting
  - Graphic Arts
  - Visual Communication Design
  - Ceramics
  - Music and Performing Arts
  - Product Design

### Graduate Degrees

- Master of Arts (M.A.)
  - Arts and Culture Administration
- Master of Fine Arts (M.F.A.)
  - Visual Arts and Design
- Doctor of Philosophy (Ph.D.)
  - Visual Arts and Design

Tel. : 0-3810-2222 Ext. 2516

Fax. : 0-3839-1042

Website : [www.fineart.buu.ac.th](http://www.fineart.buu.ac.th)



学  
ity

**2012 年度ブラパ大学大学案内より**：2013 年 10 月より Establishing Faculty of Music and Performing Arts (新しい学部になる準備の課程)となり 2014 年 10 月に新しく Faculty of Music and Performing Arts に昇格することになっている。

音楽・舞台芸術学科 (Music and Performing Arts) は、美術・応用芸術学部 (Faculty of Fine and Applied Arts) の一学科であり、タイで唯一の「音楽と舞台芸術が組み合わされた課程」を持っている。学生は、コアコースおよび専門分野の習得から様々な(西洋、東洋、現代、伝統含む)音楽、演劇、舞踊を学び、生徒同士が頻繁に公演の共同制作をしながら総合芸術としての理解を深め、実践している。

東南アジアの芸術 (芸能) においては、本来音楽と舞踊は明確に区分されるべきものではなく、相互のコミュニケーションの上に成り立っている。欧米のカリキュラムの導入により、多くのアジアの芸術系大学でも、音楽と舞踊がそれぞれ独立した課程として細分化されていく傾向にある中で、ブラパ大学では、敢えて伝統的な教授方法を反映させる形でのカリキュラム編成を行っている点が独創的である。現在は、美術・応用芸術学部の中の一学科であるが、2013 年 10 月より Establishing Faculty of Music and Performing Arts(新しい学部になる準備の課程)となり 2014 年 10 月に新しく Faculty of Music and Performing Arts に昇格することが決まっており、また、それに伴い大学院課程が創設されることになっている。

#### 【研修内容】

ブラパ大学側の受け入れ教員である中野浩二氏は、マサチューセッツカルチュラルカウンシル芸術家フェロー賞(2009 年,2011 年)など多くの受賞歴を持つ作曲家であり、現在は、アジアの伝統音楽からの作品創作を行うとともに、ブラパ大学において大学院課程のカリキュラム作成や現代音楽の視点からの教育・研究を行っている。また、2011 年からは、本学とも学術交流協定を締結している台北国立芸術大学においても、客員教授として作曲を教えている。筆者が 2012 年 3 月 25 日-30 日に台北国立芸術大学舞踊学部において行った教員間の学術交流 (筆者の教員研究費により実施) の際に共同研究の可能性について話し合ったのがきっかけとなり、今回のタイ、ブラパ大学訪問の運びとなった。

本研修では、1. タイのブラパ大学音楽・舞台芸術学科における「音楽と舞踊の組み合わされた教育実践」の授業の視察、2. 大学院課程のカリキュラム会議 (台北国立芸術大学の教員も参加) における、本学の大学院課程についての発表と議論、3. 筆者によるバリ舞踊の講義と実技 (ワークショップ) の実施、4. ブラパ大学教員の指導する学生らによる創作伝統舞踊、伝統影絵芝居ナン・ヤイ、および、コンテンポラリー・ダンス (Pichet Klunchun Dance Company) の舞台公演の鑑賞を行った。

ブラパ大学音楽・舞台芸術学科の教員らは、30 歳代から 40 歳代の若手の教員で構成されており、学科長の Sanchai Uaesilapa 氏も 30 歳代と若く、エネルギッシュな印象を持った。役職も年齢とは関係なく実力のある人が務めるしくみになっているようである。

バリ舞踊のワークショップに関しては、日本人である筆者が、タイ人にバリ (インドネシア) の舞踊を教えるということへのためらいもあったが、実際に行ってみると、タイの学部

学生たちは、東南アジアの隣国の音楽や舞踊についての知識がほとんどないことが分かり、（日本人が中国や韓国の伝統音楽や舞踊の知識があまりないのと似ているのかもしれない）筆者の授業も学生たちには役に立ったようである。

本学の芸術・表現行動学科も音楽と舞踊の組み合わせられた課程であるが、「西洋の」音楽と舞踊の教育を中心としており、また、専攻間の相互交流はそれほど活発ではない。今回の研修は、本学での音楽と舞踊の相互交流の方法を考える資料のひとつにしたい。また、本学では、アジアの音楽・舞踊を専門とする専任教員は筆者一人であり、一人では教育・研究活動にも限界があるため、今後は、アジア諸国との学術交流を密にすることにより、本学におけるアジアの音楽や舞踊についての教育・研究を充実させていきたい。

ブラパ大学（音楽・舞台芸術学科）と本学（芸術・表現行動学科）との大学間学術交流（学術交流協定）の可能性についても、今後、検討していきたいと考えている。ブラパ大学は、その規模と多彩なプログラムにより、本学の学生がタイの音楽や舞踊（演劇）、および文化を総合的に学ぶことができるという利点があり、一方、本学は、小規模ながら、アジア地域において西洋の音楽や舞踊を効率的に学ぶことができる環境がある。また、「文理融合 21 世紀型リベラルアーツ」(LA、教養教育課程)を受講すれば、自然・人文・社会領域の総合的理解を深めることができる。

#### 【写真資料（別紙）】

- (1) 大学施設（キャンパスツアー）
- (2) 「タイ古典舞踊と音楽」の授業参観
- (3) 大学院カリキュラム会議
- (4) バリ舞踊ワークショップ
- (5) バンコクのチュラロンコン大学で行われた芸術祭